

Systems Director サーバー 6.3のデータベース・ユーザーのパスワードの有効期限が切れると、管理対象オブジェクトを管理できなくなる

2015年4月13日
13:33

Systems Director サーバー 6.3のデータベース・ユーザーのパスワードの有効期限が切れると、管理対象オブジェクトを管理できなくなる ヒント集

Systems Director サーバー6.3で使用するデータベースはデフォルトでDB2となります。このデータベース・ユーザーのパスワードの有効期限が切れると、管理対象オブジェクトを管理できなくなる事象が報告されています。

以下に記載する構成に該当する場合には、本文書に記載の対応策を参照・実施頂きますよう宜しくお願いいたします。

【現象】

- ◆ Systems Director サーバー 6.3.xは、デフォルトのデータベースとしてDB2を使用します。Systems Director サーバー 6.3.xはインストール時に、OSにDB2用のユーザーとして「dirinst1」というユーザーを作成します。このdirinst1ユーザーのOSのパスワード有効期限が近づく、または有効期限が切れると、Systems Director サーバーのWebインターフェース上に以下の警告メッセージが表示されることがあります。

- 有効期限が近づいた場合

ATKWEL509W: 管理サーバーのデータベース・パスワードはyyyy/mm/nn hh:mm に有効期限が切れます。

- 有効期限が切れた場合

ATKWE508W: 管理サーバーでのデータベース・パスワードの有効期限が切れました。

【影響】

上述の現象により、以下の影響があります。

- ◆ dirinst1ユーザーのOSのパスワード有効期限が切れると、管理対象オブジェクトが管理できなくなる
 - 管理対象オブジェクトのアクセス状況が「アクセス不可」となる
 - 電源制御などの管理タスクが実行できない
 - イベント・ログを確認できないなど

【該当機種】

- ◆ Systems Director サーバー 6.3.x をサポートする全てのSystem x / BladeCenter

【該当 OS】

- ◆ Systems Director サーバー 6.3.x がサポートする全てのOS

【該当する Systems Director バージョン】

- ◆ Systems Director サーバー 6.3.x

【対応策】

以下の対応策をご参照の上、ご対応頂きますよう宜しくお願い致します。

□対応策1: Systems Directorの「changepassword」コマンドを使用し、定期的にdirinst1ユーザーのパスワードを変更する

Information Center / changePassword ツール

http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/director/pubs/topic/com.ibm.director.cli.helps.doc/fqm0_r_cli_changepassword.html

□対応策2: dirinst1ユーザーのOSのパスワードの有効期限を無期限にする

(例)Windows Server 2008 R2の場合

Windows Server 2008 R2はOSのユーザーのパスワードの有効期限はデフォルトでは42日となり、42日毎に当事象が発生する可能性があります。以下、Windows Server 2008 R2の場合を例として、対応策毎の具体的な手順を記載します。

□対応策1: Systems Directorの「changepassword」コマンドを使用し、定期的にdirinst1ユーザーのパスワードを変更する

dirinst1ユーザーのOSのパスワードの有効期限が切れる前に定期的にdirinst1ユーザーのパスワードを変更します。

dirinst1ユーザーのパスワードを変更するには、Systems Directorの「changepassword」コマンドを使用します。(当コマンドはdirinst1のOSのパスワードも変更します。)

Information Center / changePassword ツール

http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/director/pubs/topic/com.ibm.director.cli.helps.doc/fqm0_r_cli_changepassword.html

以下、dirinst1ユーザーのパスワード変更手順を記載します。

・パスワードの有効期限を確認する

1. Systems Director サーバー導入サーバー上のコマンド・プロンプトで、以下のコマンドを実行し、dirinst1ユーザーの「パスワード有効期間」の値を確認する

> net user dirinst1

ユーザー名 dirinst1

フル ネーム

コメント IBM Systems Director Database User

ユーザーのコメント

国コード 000 (システム既定)

アカウント有効 Yes

アカウントの期限 無期限

最終パスワード変更日時 2012/05/22 15:56:58

パスワード有効期間 2012/07/03 15:56:58

パスワード次回変更可能日時 2012/05/22 15:56:58

パスワードあり Yes

ユーザーによるパスワード変更可能 Yes

...(以下省略)...

・パスワードを変更する

2. Systems Director サーバーを停止する

> net stop dirserver

(略)

3. Systems Director サーバー導入サーバー上のコマンド・プロンプトで、「changepassword」コマンドを実行し、dirinst1ユーザーのパスワードを変更する

> changepassword 新しいdirinst1のパスワード

Processing all database.properties files

Reading file: C:\Program Files\IBM\Director\bin\..\lwi\conf\overrides\aem_database.properties

Reading file: C:\Program Files\IBM\Director\bin\..\lwi\conf\overrides\database.properties

Before updating 2 database.properties file

Updating C:\Program Files\IBM\Director\bin\..\lwi\conf\overrides\aem_database.properties

Updating C:\Program Files\IBM\Director\bin\..\lwi\conf\overrides\database.properties

After updating 2 database.properties file

Updating password for DB2 user ID...

[12/05/22 16:21] Reading database.properties file

[12/05/22 16:21] Attempting to change database password for user dirinst1...

[12/05/22 16:21] Database password successfully changed

[12/05/22 16:21] Notifying 1 database configuration extensions of Password change.

return code from changePassword is 0

4. Systems Director サーバーを起動する

> net start dirserver

(略)

・パスワードの有効期限が変更されたことを確認する

5. Systems Director サーバー導入サーバー上のコマンド・プロンプトで、以下のコマンドを実行し、dirinst1ユーザーの「パスワード有効期間」の値が変更されたことを確認する

> net user dirinst1

ユーザー名 dirinst1

フル ネーム

コメント IBM Systems Director Database User

ユーザーのコメント

国コード 000 (システム既定)

アカウント有効 Yes

アカウントの期限 無期限

最終パスワード変更日時 2012/05/22 16:21:18

パスワード有効期間 2012/07/03 16:21:18

パスワード次回変更可能日時 2012/05/22 16:21:18

パスワードあり Yes

ユーザーによるパスワード変更可能 Yes

...(以下省略)...

以上

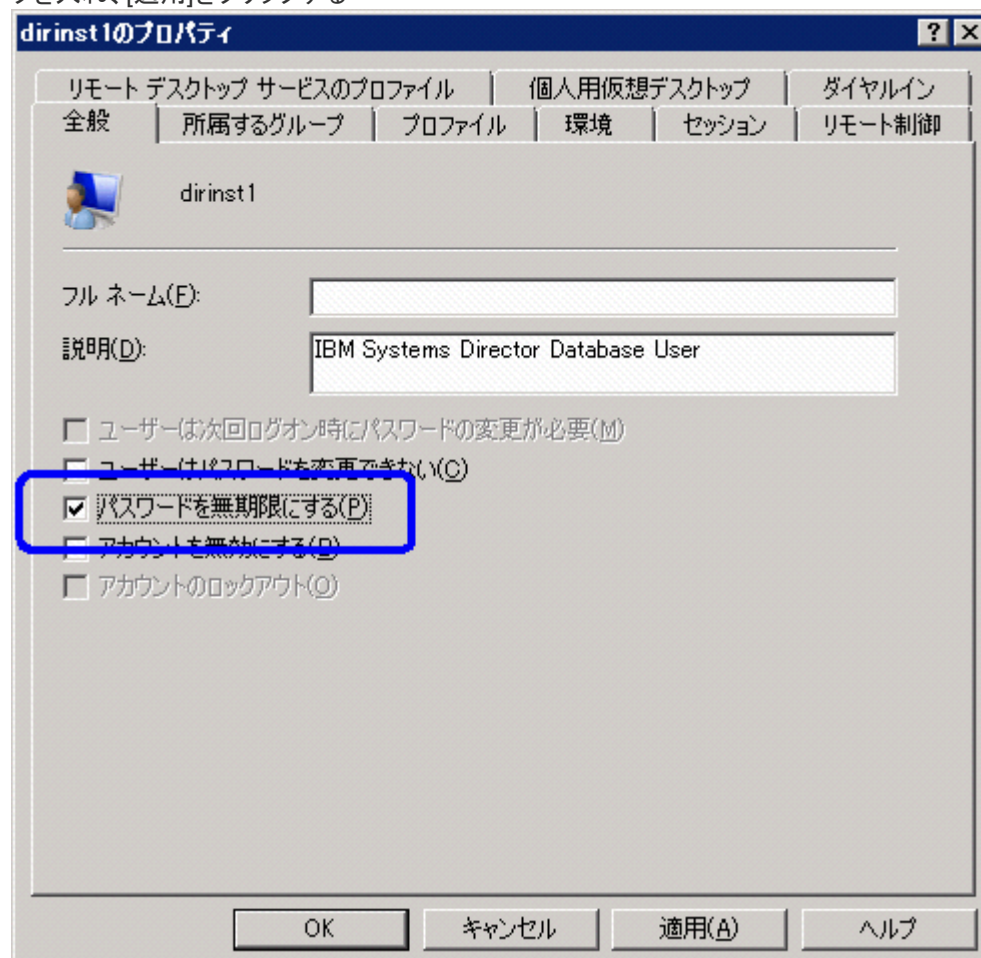
※パスワードの有効期限が切れた後も、同じ手順でパスワードを変更することが出来ます。

□対応策2: dirinst1ユーザーのOSのパスワードの有効期限を無期限にする
dirinst1ユーザーのOSのパスワードの有効期限を無期限に設定します。

以下、dirinst1ユーザーのパスワードの有効期限を無期限にする設定手順を記載します。

・パスワードの有効期限を無期限にする

1. Windowsの[スタート]メニューから[管理ツール]→[コンピューターの管理]を選択する
2. 表示される[コンピューターの管理]画面の左側ペインで[コンピューターの管理]→[ローカル ユーザーとグループ]→[ユーザー]をクリックする
3. 右側ペインで[dirinst1]ユーザーのエントリーを右クリック→[プロパティ]を選択する
4. 表示される[dirinst1のプロパティ]画面の[全般]タブで「パスワードを無期限にする」チェックボックスにチェックを入れ、[適用]をクリックする



5. [OK]をクリックして画面を閉じる

・パスワードの有効期限が変更されたことを確認する

6. Systems Director サーバー導入サーバー上のコマンド・プロンプトで、以下のコマンドを実行し、dirinst1ユーザーの「パスワード有効期間」の値が「無期限」に変更されたことを確認する

>net user dirinst1

ユーザー名 dirinst1

フル ネーム

コメント IBM Systems Director Database User

ユーザーのコメント

国コード 000 (システム既定)

アカウント有効 Yes

アカウントの期限 無期限

最終パスワード変更日時 2012/04/15 21:48:31

パスワード有効期間 無期限

パスワード次回変更可能日時 2012/04/15 21:48:31

パスワードあり Yes

ユーザーによるパスワード変更可能 Yes

...(以下省略)...

以上

【参考資料】

当文書は下記技術文書をもとに作成しました。当事象の詳細は下記の文書(英語)をご参照ください。

ATKWEL508W/ATKWEL509W Warning Messages are Displayed on Systems Director Console

<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas7f1986cb35c5f42e486257a170010039f>

以上

更新履歴

2012年06月26日 初版公開

免責:

当内容は、お客様、販売店様、その他関係者が、System x, Flex Systemなどを活用することを目的として作成しました。

詳細につきましては、URL (<http://www.lenovo.com/legal/jp/ja/>) の利用条件をご参照ください。

当技術資料に含まれるレノボ・エンタープライズ・ソリューションズ株式会社およびLenovo Enterprise Solutions (以下総称して、LES) 以外の製品に関する情報は、各提供ベンダーより提供されたものであり、LES はその正確性または完全性についてはいかなる責任も負いません。

当技術資料の個々の項目は、LESにて検証されていますが、お客様の環境において全く同一または同様な結果が得られる保証はありません。お客様の環境、その他の要因によって異なる場合があります。お客様自身の環境にこれらの技術を適用される場合は、お客様自身の責任と費用において行なってくださいますようお願いいたします。

Copyright 2015 レノボ・エンタープライズ・ソリューションズ株式会社

文書番号: SYJ0-03E5DF9

最終更新日: 2012-06-27